

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

2023 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

2023 年度事業報告書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

※以下表示金額は、税込価格である

1. 2023 年度事業の実施

2023 年度の事業は、2023 年 3 月 13 日に開催された公益財団法人 MR 認定センター第 55 回理事会において承認を得た「2023 年度事業計画」に基づき実施した。

2. 理事・監事・評議員

1) 評議員の選任

評議員真鍋淳氏の辞任申し出に伴い岡田安史氏を、宇佐美伸治氏の辞任申し出に対して小野寺哲夫氏を、また、新たに杉山幸成氏を第 28 回臨時評議員会において選任した。評議員の任期は、定款第 16 条により 2026 年度定時評議員会の終結の時までとなる。

2) 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

第 56 回 5 月 22 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ①2022 年度事業報告書（案）を承認した。
- ②2022 年度決算報告書（案）を承認した。
- ③第 27 回評議員会の招集を決議した。
- ④理事長及び専務理事より業務執行状況に関して報告された。

第 57 回 7 月 20 日 (定款第 45 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①第 28 回臨時評議員会を招集する件を決議した。

第 58 回 2024 年 1 月 15 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ①第 30 回 MR 認定試験の結果について承認した。
- ②2023 年度収支予算の修正について承認した。
- ③2026 年度 MR 認定制度改定に関して報告された
- ④MR 認定証の更新における不正事案について報告された。
- ⑤2024 年度事業方針について報告された。

第 59 回 2024 年 3 月 25 日 於:ステーションコンファレンス東京 606 会議室

- ①2024 年度事業計画（案）について決議された。

- ②2024 年度収支予算（案）について決議された。
- ③MR 認定制度 2026 年度改定（案）について審議されたが決議保留となり、再度検討し決議することとなった。
- ④MR 認定証の更新における不正事案に対する処分について審議されたが決議保留となり、再度検討し決議することとなった。
- ⑤代表理事及び専務理事より業務執行状況に関して報告した。

(2) 評議員会

第27回 6月12日 於:ステーションコンファレンス東京 402CD会議室

- ①2022 年度決算報告書(案)について承認した。
- ②2022 年度事業報告書について報告した。
- ③2023 年度事業計画について報告した。
- ④2023 年度収支予算について報告した。
- ⑤MR 認定試験制度の抜本改革について報告した。

第 28 回 7 月 27 日 (定款第 25 条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ①評議員候補者の選任を承認した。

3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

1) 第 30 回MR認定試験の実施

(1) 試験の実施

試験日時 12月10日(日)午前9時30分より午後4時20分まで

試験地 東京:武蔵大学 大阪:大阪工業大学大宮校

受験者数

	合計	新規受験	再受験
受験者数(名)	1,075	925	150
申請者数(名)	1,116		

(2) 試験委員会の開催

第30回MR認定試験・スタートアップ試験委員会 5月24日実施

- ・第30回MR認定試験の作問要領の確認及び提出期限の確認を行った。

第30回MR認定試験運営委員会 9月21日実施

- ・第30回MR認定試験問題等について検討した。

第30回MR認定試験・合否判定試験委員会 2024年1月10日実施

- ・第30回MR認定試験の結果を検討し、合否判定を実施した。

(3) 合否の判定

2024年1月15日付の第58回理事会で承認を受けた後、1月29日付で受験者に試験結果を通知した。

	合計	新規受験	再受験
合格者数(名)	901(83.8%)	814(88.0%)	87(58.0%)
不合格者数(名)	174	111	63

(4) 合格基準点の公表

- ・医薬品情報:54点(80点満点) (67.5%)
- ・疾病と治療:64点(110点満点) (58.2%)
- ・MR総論: 56点(80点満点) (70.0%)

2) 第31回MR認定試験の準備

第31回試験は2024年12月8日とし、実施に向けて準備に入った。

(1) 第31回試験受験案内

2024年3月27日付で各企業に通知した。

(2) 試験会場

武蔵大学、立命館大学から借用の内諾を得た。

3) MR認定証の発行及び管理

(1) 認定証の発行

第30回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった635名に対し交付した。

また、認定証の棄損・亡失などの理由により、494枚再交付した

(2) 再受験科目の管理

不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

(3) MR バッジの再交付

企業からの申請を受け、183個再交付した。

4) MR認定証の更新手続き

認定証の有効期限が2024年1月末日の者を主な対象とし、5年間の所定の認定研修を修了した者に対して、MR学習ポータルに搭載された更新時確認ドリルの修了により認定証を更新した。

(1) 「MR認定証」の更新

①MR認定証での更新

更新要件(所定の認定研修及び更新時確認ドリル修了者)を満たした者13,312名に対して、「MR認定証」の更新を行った。

②「MR基礎教育限定認定証」での更新

更新要件のうち、更新に必要な最終年度の実務教育を修了認定されていない者3,616人に対して、「MR基礎教育限定認定証」での更新を行った。

5) MR認定試験制度改定案の策定

(1) CBT検討委員会における検討

CBT検討委員会を設置し4回の委員会を開催した。新制度における試験の骨子案

が検討され試験委員会に答申した。

①委員の委嘱

青木紀勝	ビジオビコンサルティング代表
阿部和穂	武蔵野大学薬学部教授
浦山隆雄	公益財団法人日本薬剤師研修センター顧問
大谷壽一	慶応義塾大学医学部教授 慶応義塾大学病院薬剤部長
高柳理早	東京薬科大学薬学部准教授
渡邊伸一	帝京平成大学薬学部教授

②答申された試験骨子案

試験方式	CBT (Computer based test)
合否判定	IRT(項目反応理論)による合否基準の設定
実施時期	6～7月、11月の2回(2026年度)
試験期間	1回9日間
試験問題数(時間)	医薬品情報 60問(60分)、疾病と治療 70問(70分)、MR総論 60問(60分)
合格要件	連続する4回の試験内において3科目合格

(2)委員会開催日程

- ・CBT 検討委員会(全4回実施)
5月29日(月)、7月7日(金)、9月8日(金)、12月5日(火)
- ・試験委員会への答申
2024年1月10日(水)

(3)企業説明会における試験骨子案の説明と意見交換(4回実施)

- ・5月18日(木)大阪、5月23日(火)東京
- ・7月12日(水)東京、7月14日(金)大阪
- ・9月15日(金)大阪、9月20日(水)東京
- ・2024年2月2日(金)大阪、2月6日(火)東京

4. MRの資質向上等に関する調査研究及び広報事業

1) 調査研究事業

(1)MR活動に関する実態調査(MR白書)の実施

センターに登録している製薬企業187社とCSO14社、卸1社に対し2023年3月31日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、回収率は100%であった。「MR白書」(2023年版)としてとりまとめた。

7月18日に厚生労働省、日本製薬工業協会をはじめとする関係各所、及びセンター登録200社に「MR白書」(2023年版)を発送した。同日、本町記者会を対象に公表記者会見を実施した。

(2)大規模「MR 実態調査」の報告書の公表

2022年2月(2021年度)と2022年8月8日～23日(2022年度)に調査を行い、医師2,084名、薬剤師624名MR1,292名から回答を得た結果を「MR 実態調査2022報告書」としてまとめ、4月24日に関係する各団体、企業、センター委員、役職員に配布した。配布前の4月21日に本町記者会を対象にMR 実態調査報告書説明会を行った。

(3)学会発表等

①第25回日本医薬品情報学会 シンポジウム(2023年6月10日～11日、京都)
タイトル:医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインへの対応とMRの存在意義

オーガナイザー	近澤洋平(MR認定センター)
座長	林昌洋先生(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)
講演1	医療用医薬品の情報提供活動に関するガイドラインへの対応とMRの存在意義 近澤洋平(MR認定センター)
講演2	医薬品情報提供活動の現状と課題 -ガイドラインと臨床現場の葛藤- 長谷川晃司先生(京都中部総合医療センター薬剤部)
講演3	販売情報提供活動ガイドラインへの対応とMRの存在意義(製薬業界の立場から) 石田佳之先生(日本製薬工業協会)
講演4	医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインへの対応(行政の立場から) 佐藤大作(厚生労働省)

②第25回日本医薬品情報学会(2023年6月10日～11日)

・ポスター発表

「MR 実態調査」の薬剤師編につき病院薬剤師と調剤薬局薬剤師のセグメント結果

③日本薬学会第144年会(2024年3月29日～31日、横浜)

・ランチョンセミナー

タイトル	“挑戦と機会“ 新しいMR認定試験が切り拓く薬学生の未来
座長	栗原順一先生(帝京大学名誉教授)
講演	大谷 壽一先生(慶應義塾大学医学部教授、慶應義塾大学病院薬剤部長)

・一般シンポジウム

オーガナイザー	近澤 洋平(MR認定センター)
座長	田中徳雄先生(京都薬科大学常任理事)
講演1	多様な進路とキャリアパス 串田一樹先生(昭和薬科大学)

講演 2	製薬企業で働く魅力と将来の可能性 石田佳之先生(日本製薬工業協会常務理事)
講演 3	薬科大学におけるキャリア教育の課題と対応策 中込啓一先生(武蔵野大学薬学部)
講演 4	医薬情報担当者(MR)認定制度改革と今後の方向性 近澤洋平(MR認定センター)

2) 広報事業

(1) 総括教育研修責任者会議/MR フォーラム 2023

MR 認定制度に対する理解徹底と MR 自ら必要な変革の方向性を考える機会を創出するという2つを目的に「MR への期待」をテーマに、以下のプログラムを現地会場と Web ライブ配信のハイブリッド形式で開催した。

また、厚生労働省と一般社団法人くすりの適正使用協議会の後援を得た。

①開催日及び場所:

8月24日(木) 13:30～16:30、東京コンファレンスセンター品川

②プログラム

13:30～13:35	開会あいさつ MR認定センター代表理事 畠 清彦
13:35～14:05	【基調講演】 医薬品の適正使用推進に対する企業の責務とMRへの期待 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課長 野村 由美子
14:10～14:40	【講演】 MR認定制度の歴史と認定試験制度改革の意義 公益財団法人MR認定センター 専務理事・事務局長 近澤 洋平
15:00～15:30	【基調講演】 医療用医薬品の販売情報提供活動ガイドラインの本質とMRへの期待 厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課長 佐藤 大作
15:35～16:05	【特別講演】 一緒に考えてみませんか? これからの医薬品情報提供のあり方 ～病院薬剤師から MR の皆様へ～ 京都第二赤十字病院 薬剤部治験管理課 課長 野口 裕介
16:10～16:30	【講演】 歴史も将来も自分がつくるもの 公益財団法人 MR 認定センター 企画部長 小日向 強
16:30	閉会あいさつ 日本製薬工業協会 常務理事 公益財団法人MR認定センター 理事 石田 佳之

③参加者数(会場+Web)

MR	465名	38.9%
MRの上司	137名	11.5%
総括教育研修責任者・教育研修管理責任者	166名	13.9%
責任者以外の教育研修担当者	242名	20.3%
製薬企業・CSOの上記4つ以外	133名	11.1%
業界団体・医療機関・薬局・大学・官公庁	30名	2.5%
その他	21名	1.8%
全体	1,194名	100.0%

(2)大学での講義等

- ・5月12日 東京薬科大学薬学部にて「医薬品情報特論」講義(Web講義)
- ・7月13日 武蔵野大学薬学部にて「キャリアデザイン1」講義(大学8号館)
- ・7月19日 武蔵野大学薬学部にて「ランチセミナー」講義(Web講義)
- ・8月9日 6薬科大学「医療産業研究セミナー」Web講演

(4)MR認定試験制度改革への布石「記事広告」

2026年度の施行を予定している新しい試験に向け、学生および薬系大学教員に対するMR職への理解促進を目的に薬事日報 薬学生新聞(2024年1月20日号)に記事広告を掲載した。

(5)私立薬科大学協会理事会での説明(11月28日)

2026年度の施行を予定している新しい認定制度について説明する機会を得て、啓発活動を行った。

(6)薬科大学キャリアセンター訪問

新しい試験制度の広報活動として、以下の大学への訪問を実施した。

6月20日 明治薬科大学(越前学長、兎川副学長、菱沼教授、杉山教授、宮下キャリア支援課長)

7月21日 京都薬科大学(木曾理事長、赤路学長、長澤進路支援部長)

5. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

1)教育研修システムの認定及び更新

(1)教育研修システムの認定及び登録解除

新規に教育研修システムの認定を3社行った。業務廃止・企業合併に伴い3社の登録を解除した。2024年3月31日現在センター登録企業数は、200社である。

(2)教育研修システムの認定更新

センター登録企業は、「教育研修システム認定更新講習会」に参加し、試問に合格することで認定が更新される。(要綱第12条第5項、細則第7条)

開催日:東京会場:2024年2月14日(水) 大阪会場:2024年2月16日(金)

受講料:1名につき7,700円(税込み)

参加者:205社 351名(会場参加東京172名、大阪51名、Web参加128名)

プログラム:

13:00～13:05	開会挨拶 専務理事 近澤洋平
13:05～13:25	第30回認定試験結果と今後の試験運用について 試験事業部部長 若桑秀司
13:25～13:45	MR学習ポータルについて 企画部長 小日向強
13:45～14:15	教育研修システムの確認 教育研修部長 神田明
14:25～15:25	2024年度の留意点と確認ポイント 教育研修部長 神田明
15:35～16:00	MR認定制度2026年度改定に向けて 専務理事 近澤洋平
16:00～16:10	2026年度MR認定試験について 試験事業部部長 榎坂宏
16:10～16:30	質疑応答

2) 教育研修の修了認定

2023年度の教育研修(導入・継続)の計画の届け出の受付並びに実施申請の修了認定数、修了者数は下表のとおり。

2023年度教育研修計画の受付・実施申請の修了認定(2024年5月1日現在)				
教育研修種類	計画届出 受付数	実施申請 修了認定数	修了者 人数	中止他
導入	90	89	809	1
導入(基礎)	17(6)	16(5)	165(40)	1
導入(実務)	18	18	121	0
導入(有資格者)	1	1	1	0
導入教育_計	126(6)	124(5)	1,096(40)	2
継続(基礎)	3	3	3,083	
継続(実務)	200	198	54,603,	2
継続教育_計	203	200	57,686	3

():実施機関での受講数

3) 教育研修委員会

伊藤誠悟委員、宮原康行委員、嘉瀬井章委員が辞任し、川井真氏、森岡真一氏、尾形佳香氏が委員に就任した。

(1)第62回委員会(2023年9月1日(金)17:00-19:00 ハイブリッド開催)

承認事項1. 実務教育認定基準の作成について

承認事項2. 教育研修推進者会議について

- (2)第 63 回委員会(2024 年 3 月 7 日(木)17:00-18:00 ハイブリッド開催)
 承認事項1. 実務教育認定基準(案)について
 承認事項2. 教育研修に関する企業委員会(仮称)の設置について
 報告事項1. 2023 年度教育研修実施状況報告

4)教育研修に対する支援事業

(1)教育研修推進者会議

テーマ:「実務教育の質を高める OJT(同行教育)を考える」

開催日:2023 年 10 月 17 日(火) 対面・Web のハイブリッド開催

参加料:1 名につき 5,500 円(税込み)

参加者:教育研修推進者及び教育研修関係者

企業数	参加者数
163 社 (会場:157 社) (企業:161 社、実施機関:2 社)	293 名(会場:157 名) (企業:291 名、実施機関:2 名)

プログラム

1. 開会挨拶	近澤 専務理事	13:00-13:10
2. アイスブレイキング	神田 教育研修部長	13:10-13:35
3. 企業事例発表・情報共有1 終日同行が育成へもたらすもの	大鵬薬品工業(株)	13:45-14:20
4. 企業事例発表・情報共有2 知識 x スキル x 倫理観を高めるMRを育成するために	武田テバファーマ(株)	14:30-15:05
5. 企業事例発表・情報共有3 患者さん、MR 育成	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	15:20-15:55
6. 全体質疑		16:00-16:20
7. 閉会にあたって	小日向 企画部長	16:20-16:30

5)実務教育(倫理教育・安全管理教育)の認定基準策定

(1) サポート企業の選定

教育研修ベンダー2 社に対して、期待する要件を提示し両社から提案を受けた結果、シェルパワークス株式会社と契約を締結した。

(2) 事務局案の作成

2023 年 5 月～10 月の間にシェルパワークス株式会社と協力して企業から収集した必要データの解析を行い、事務局案を作成した。

(3) 実務教育認定基準検討委員会の設置と基準案の検討

吉田 健一	関西医薬品協会
山崎 洋	日本ジェネリック製薬協会
森 慶二	日本医薬品直販メーカー協議会
中村 香澄	日本 CSO 協会
石渡 純子	中外製薬株式会社

残間 朗	帝人ファーマ株式会社
藤木 邦俊	ファイザー株式会社

第1回 11月17日 ビジョンセンター日本橋

第2回 12月15日 ビジョンセンター日本橋

(4) 実務教育認定基準策定委員会の設置と基準案の検証

検討委員会で修正した事務局案の内容の妥当性について検証し、3月の教育研修委員会に答申した。

照井 康仁	埼玉医科大学病院 血液内科 教授
川井 真	東京慈恵会医科大学 循環器内科 教授
安野 伸浩	帝京大学薬学部 教授 帝京大学医学部附属病院 薬剤部 部長
舟越 亮寛	亀田総合病院 薬剤部 部長
大野 能之	東京大学医学部附属病院 副薬剤部長
大川 進	医療用医薬品製造販売業公正取引協議会 事務局長
平田 千佳	日本製薬工業協会 コードコンプライアンス推進委員会 委員長
倉持 憲路	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全管理監
滝田 論	日本製薬団体連合会安全性委員会 委員長
吉田 淳一	くすりの適正使用協議会 先進医療製品適正使用推進委員会 副委員長

第1回 2024年1月24日 ステーションコンファレンス東京

第2回 2月8日 ステーションコンファレンス東京

6)MRの果たすべき役割の改訂

製薬協流通適正化委員会の下部組織であるプロモーション部会の協力を得て、「MRの果たすべき役割 2017年改訂版」の改訂について検討した。製薬協加盟72社のうち常任委員がいる36社を対象にアンケート調査を行い、部会との協議の結果、MRの果たすべき役割の改訂を行わないこととした。

6. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1)MRテキスト2018紙版の頒布と頒布終了

(1)頒布価格及び頒布部数

紙版の頒布は、2023年10月に個人向け販売を終了、企業向けの販売を12月22日に終了した。

書籍名	税込価格	頒布部数
MRテキスト2018 医薬品情報	2,970円	165部
MRテキスト2018 疾病と治療(基礎)	2,420円	150部
MRテキスト2018 疾病と治療(臨床)	3,740円	140部
MRテキスト2018 MR総論	4,070円	162部
MRテキスト2018 医薬品情報 第6章追補	440円	161部

(2)正誤表の作成と頒布

正誤表 2023 年 6 月をセンターWeb サイト上で無償頒布した。

(3)追補の作成と頒布

追補 2023 年 6 月をセンターWeb サイト上で無償頒布した。

(4)在庫の廃棄処分

在庫となった書籍を 3 月 28 日に溶解処分し、586,501 円の資産減となった。

書籍名	仕入単価	廃棄部数	廃棄資産
MRテキスト2018 医薬品情報	575.56円	0部	0円
MRテキスト2018 疾病と治療(基礎)	500.23円	15部	7,503円
MRテキスト2018 疾病と治療(臨床)	620.41円	357部	221,486円
MRテキスト2018 MR総論	3,441.00円	96部	330,336円
MRテキスト2018 医薬品情報 第6章追補	148.50円	183部	27,175円
資産減合計			586,501円

2)MRテキスト 2018 電子版の頒布と頒布終了

(1)頒布価格及び頒布部数

2023 年度電子版テキストは、頒布価格 1,650 円とし 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日閲覧可能とした。3 月 15 日を申込最終日として頒布を終了した。

	税込み価格	部数
電子版(4冊のテキストを閲覧可)	1,650円	1,738部

3)MR 学習ポータル

(1)MR 学習ポータルの利用実績

MR 学習ポータル(有料版)は、2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の期間で利用可能とした。

	税込み価格	部数
MR学習ポータル(有料版)	2,079円	69,921部

(2)MR 学習ポータル(有料版)の内訳

	税込み価格	センター事業区分
更新時確認ドリル及び更新手続き	649 円	公益 1(試験)
基礎教育年次ドリル	275 円	公益 2(教育研修)
MRテキスト	1,155 円	収益

(3)次年度のドリル掲載準備

①直近の MR 認定試験過去問題

2023 年 4 月 1 日より第 29 回 MR 認定試験過去問題をPDFで有料版利用者に提供を開始した。

②基礎教育年次ドリル

6 社が参加した 2023 年度版用ドリル問題 1065 問の作成が 5 月末までに完了した。遅滞なく 8 月 1 日よりドリル提供を開始した。

③更新時確認ドリル

問題セットを拡充し、ドリルの提供を行った。2022年度に使用した問題セットを精査し、初年度採用した問題の半数を削除したうえで重複問題を削除し、新たに問題を追加し、24問または540問の出題に耐えうる問題数の充実を図った。

(4)不正利用への対応

2022年11月に初めて見つかった基礎教育年次ドリルの問題と解答を販売するインターネット上での投稿記事の発見以降、解答の代行を請負うものなど複数出現したことから、顧問弁護士に相談し、ネットでの問題に詳しい弁護士の紹介を受け、対応及び今後の対策を依頼。一部の記事投稿者を特定することができたため、1月の理事会で報告するとともに、3月の理事会で処分の検討を開始した。

4)MRテキスト2024の制作と頒布開始

(1)電子版での内覧

11月1日～2024年3月29日の期間で企業向けに内覧を行った。閲覧した企業から多くの修正提案や疑義が寄せられ、原稿の校正に役立てられた。

(2)紙版の頒布開始

12月1日～2024年1月12日の期間限定で予約受注を受け付け、2024年3月15日に受注分を納品した。

書籍名	税込価格	頒布部数
MRテキスト2024 医薬品情報	8,800円	1,145部
MRテキスト2024 疾病と治療(基礎)	16,500円	1,185部
MRテキスト2024 MR総論	9,350円	1,168部

販売は、株式会社南山堂に委託した。

5)その他の冊子の作成と頒布

- ・「まんがMR物語 改訂版」
- ・「MRの果たすべき役割 改訂版」
- ・MR認定要綱解説書 2021年3月
- ・MRの資質向上を目指した継続教育の充実について 2018年2月
- ・MR継続教育進め方手引き 2019年3月
- ・MR認定センター事業構造改革検討会検討結果報告書 2019年4月
- ・MR認定センター20年史 2019年10月
- ・MR認定制度抜本改革の検討結果報告書 2020年8月

7. 設備投資等について

1)MR学習ポータルへのテキストビューワー搭載の検討

・利用者の利便性向上を目的にePub形式導入のための開発を行い、2023年5月にMR学習ポータルへのビューワー搭載作業を終了し、10月下旬まで細部の調整に時間を要した。2023年11月に実装を完了した。 以上

2023年度「事業報告の附属明細書」について

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”が存在しないので附属明細書を作成しない。

以上